

蕨と鉄道 にぎわい創出PJ

～鉄道を中心とした地域貢献～

【団体名】わらてつまつり実行委員会

【担当部署】市民生活部 商工生活室

1. 事業の目的

わらてつまつりを実行することにより、蕨と鉄道の関わりを深め、市内外から多くの人を集客し地域の活性化を図る。

2. 実施内容

わらてつまつりの開催

日 時：平成27年7月25日（土）10:00～17:00

26日（日）10:00～16:00

会 場：蕨市立文化ホールくるる、旭町公民館、JR蕨駅他

参加者数：7,500人（2日間の延べ合計）

内 容：ミニ新幹線の試乗会、鉄道模型レイアウトの展示走行、親子参加の模型作り、物販（模型や鉄道用品）、模擬店（飲食物等）、親子ダンボール鉄道車両コンテスト、模擬店での購入でスタンプを集め抽選で賞品が当たる仕組みを作り模擬店の販売促進を実施

3. 役割分担

（1）団体：事業の企画・実施

市：広報

4. 事業費と主な支出内容

（1）事業費：総額620,468円（うち蕨市協働事業補助金300,000円）

（2）支出の主な内容

イベント費、運搬費、人件費、広告費、保険費、雑費

5. 協働による効果

【わらてつまつり実行委員会】

蕨駅120周年から始まったこのお祭りも、3回目を迎え、定着しつつあり、今年も地域団体、企業、JR東日本などと連携して行うことで、鉄道と関わり深い蕨をPRし、地域活性化への道筋を模索することができた。

また、わらてつまつりテーマソングの作成や大抽選会、段ボールを装飾した電車ごっこなど、市との協働事業として実施することで、新たな企画にも挑戦し、一層の集客増加および内容の充実を図ることができた。

【商工生活室】

わらてつまつり実行委員会が主体となって、多くの企業や団体にご協力いただき、今年も盛大に開催することができた。

また、会場のスペースが限られるなか、開催中、多くの親子連れが訪れたが、市と団体とでお互いの役割を明確にすることで、混乱もなく、スムーズに事業を実施することができた。

6. その他の成果・感想・今後の課題など

【わらてつまつり実行委員会】

回を重ねての開催でわらてつまつりの認知度は上がっている。地域でのまつりに対する期待をより高め、地域企業、団体の皆様には協賛、出店のご協力とともに、まつりの企画にもご意見をいただき、より地域に貢献できるまつりにしていきたい。

そのように今後も継続・発展していくためには、更なる担い手の確保が必要となってくる。引き続き、市の広報力を活用しながら、地域との連携強化に取り組んでいきたい。

【商工生活室】

蕨駅開業にちなみ、例年、7月開催としているが、夏の暑い時期での開催となるので、引き続き、熱中症など、安全対策を心がけたい。



ミニ新幹線出発！



模擬店は大賑わい



子供たちは、大はしゃぎ！



親子で楽しんでます